

# 人財育成

## 長期的な視野に立ち、実践的なプログラムで行員一人ひとりの成長をバックアップ

みなと銀行では、入行当初から段階を踏んでキャリアを形成できる教育研修体系を構築しています。自ら考え、行動し、検証する実践的なプログラムによって金融のプロとしての資質や職務遂行能力を高め、行員一人ひとりのやる気を伸ばし、着実な成長をバックアップします。

### ■ 4つのポイント

<p><b>OJT</b></p> <p><b>上司・先輩から学ぶチャンス</b> 成長するための近道はやはり現場での上司や先輩の技術を学ぶこと。上司・先輩のコミュニケーション方法や交渉術を見ることで、自分自身のスキルアップを図ります。学ぶべき点を吸収するとともに、自らの不足点や欠点を補うきっかけとする成長へのステップです。</p>	<p><b>マネジメント課程 教養課程</b></p> <p><b>新入行員から支店長まで</b> 銀行員としての基礎を学ぶ新入行員研修から、指導力・リーダーシップ・マネジメント能力を高める支店長向けの研修まで、各階層を対象とした研修を実施。若手の研修は同期入行者が一堂に会して受講するため、お互いが刺激しあって知識を習得していきます。</p>
<p><b>専門課程</b></p> <p><b>専門的知識の向上</b> 渉外・融資・窓口など、それぞれの担当職務に応じた研修を実施。実際の業務に即応した研修を行うことにより、現場における多様なケースに対応できるようにスキルを磨きます。</p>	<p><b>専任コーチ メンター制度</b></p> <p><b>入行1年目は先輩行員が相談相手に</b> 配属先ではマンツーマンスタイルで先輩行員が専任コーチとなり、業務の指導や相談に応じます。先輩行員が自らの体験に基づいてアドバイスし、職場での人間関係を育みながら業務知識とスキルを習得していきます。</p>

### ■ 研修プログラム

みなと銀行では、研修を「マネジメント課程」「専門課程」「教養課程」と3課程に分けて体系化しています。下記では、教養課程の一部である、入行1年目～3年目の職務内容・研修体系をお示しています。

#### 入行1年目～3年目研修体系について

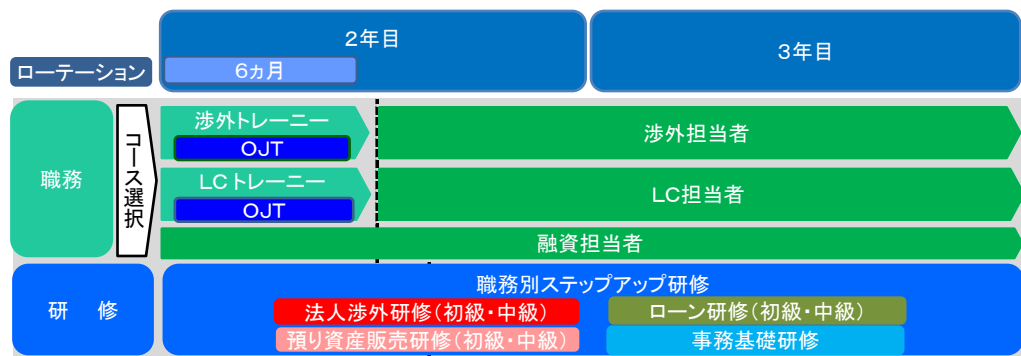
##### 1 入行1年目

一年を通して実施される新入行員研修で、社会人としての基本行動の習得から始まり、みなと銀行の行員として必要な基礎知識を習得します。同期で定期的集まる場として、同期入行者の近況報告や情報交換の場としても活用します。



##### 2 入行2年目・3年目

渉外、LCの担当者として独り立ちする前に、先輩の業務のアシスタントやOJTにより、実践的な知識を習得します。職務別研修により、自分の職務に応じた専門的な知識を習得します。



### ■ 公募制度

高い意欲とチャレンジ精神を持つ行員に対し、希望職務へ挑戦する機会を提供する「行内公募」や専門人財の育成、目利き力・コンサルティング能力の向上を目的とした「第二地方銀行協会主催研修公募」を実施しています。

#### ＜主な行内公募例＞

- 個人業務部/ローン企画・推進業務
- 地域戦略部/地方創生推進
- 事業サポート部/M&A・事業承継コンサルティング業務
- 国際業務部 アジア室/ベトナム研修派遣・上海研修派遣
- ダイレクトバンキング部/相続業務指導

#### ＜主な第二地方銀行協会主催研修公募例＞

- 事業性評価/ソリューション提案力強化研修
- 金融ビジネス研究講座「事業承継の実務」
- 法人新規開拓実践研修「法人新規先へのアプローチ」
- 創業支援融資・審査能力養成講座
- 経営支援能力強化研修